

日本アレルギー学会
JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム
2026 年度 募集要項

日本アレルギー学会 理事長 海老澤 元宏

背景と目的

日本アレルギー学会（JSA）はアレルギー診断・アレルギー免疫療法を核として各領域のアレルギー疾患を対象に発展してきた経緯がある。

これまで、アレルギーに関わる基礎及び臨床研究に関する支援は主として厚生労働科学研究費で行われてきたが、現在は政府方針によりその大部分が AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）に移行したことにより、研究費が獲得し難い状況となっている。

折しも、2020 年に開催された第 69 回日本アレルギー学会学術大会（京都）は、世界アレルギー機構（WAO）等との共催で約 30 年ぶりの世界アレルギー会議として計画されたものの、COVID-19 によるパンデミックにより Web 開催に変更を余儀なくされたが、約 1 か月の期間をもって盛会裏に終了することができた。

このことにより、同大会の予算規模は縮小したものの、招聘費など支出の減が相伴って、一定の余剰金が生じたことから、JSA のコアであるアレルギー関連（アレルギー疾患疫学研究等を含む）の研究を再び活性化することを目的として、5 年間に渡る本研究助成プログラムを創設した。

昨年に引き続き、2026 年度も下記のとおり実施する。

助成期間 5 年目（最終）

2026 年（令和 8 年）4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日（1 年間）

研究対象領域

研究助成対象は以下の領域とする。

- ① アレルギーに関連する研究
- ② アレルギー診断に関する研究
- ③ アレルギー免疫療法に関する研究
- ④ アレルギー疾患に関する疫学調査研究

応募資格

- 研究代表者は日本アレルギー学会会員に限る。申請時 50 歳未満とし、教授職またはそれに相当する職位に就く者を除く。

対象となる研究の条件

- 単一施設の研究に限らず、複数施設による共同研究も支援し、多施設間の人的交流や情報交換などを活発にすることで臨床研究の推進を図る。

- 研究によって明らかにしようとする達成目標が明確で、その結果が学会員に寄与することが期待され、かつ実行可能な研究であること。
- 将来的に大型の競争的研究費獲得までの明確なロードマップを有する予備的検討も対象とする。
- AMED、厚生労働科学研究費および科学研究費助成事業など既に外部予算として獲得している内容（分担研究者としても）は対象としない。
- 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（2021年3月23日）をはじめとする倫理指針が遵守され、研究代表者だけではなく分担研究者も倫理委員会の承認が得られていること。また、利益相反の申告を学会および全実施施設の当該委員会へ提出すること。
- 研究内容によっては、臨床試験登録(UMIN-CTR など)及び医師賠償責任保険の契約が行われていること。
- 研究計画に関するコンサルテーション、研究事務とコーディネーション、登録業務・中央モニタリング、データマネジメントと統計解析などは支援の対象とはならない。これらは各研究施設に設置された臨床研究支援センターなどを活用することを前提とする。

研究支援実施の要領

- 助成金総額は 1,500 万円／年
 - ・通常枠 ⇒ 1 件当たり 500 万円 2 件（予定）
 - ・若手研究者（2026 年 4 月 1 日時点で 40 歳以下の者）枠
⇒ 1 件当たり 100 万円 5 件（予定）
- 助成期間は 1 年間とする。また、継続申請ができる期間は今回を最終年とする。その際は新規課題と同列に審査する。
- 選考の審査は、JSA の選考推薦委員会が行い、その際の委員長は第 69 回学術大会会長が務める。また、同委員会の委員は、研究代表者としての申請は不可とする。
- 選考推薦委員会において、研究課題及び助成額を決定し、理事会の承認を得て学会ホームページにて公表する。
- 適切なテーマの申請がなかった場合は、採択しないこともある。
- 申請に必要な書類は、申請者及び研究協力者の情報、研究計画書（研究目的、方法、期待される結果などを 2000 字程度）、申請者の研究業績、経費内訳（研究終了後、支出明細を提出する）など「別紙 1」による。
- 備品費や人件費も認めるが、全体に占める比率を妥当な範囲とする。また謝金など人件費に充てる場合は、源泉徴収など税務上の適正な手続きをとること。
- 助成金に余剰が生じた場合には、これを返却すること。

公募期間

2025 年 12 月 1 日～12 月 31 日

申請書類提出先・応募方法

応募用紙は PDF ファイルにして、学会サイトの「会員マイページ」からアップロードして下さい。次の手順でおすすめて下さい。

- 1) 「会員マイページ」にログイン：<https://jsa-member.jp/JSAWEB/U01/U010101>
- 2) 各種手続き→応募書類等提出にて応募用紙の PDF ファイルを選択
→JSA WAO 2020 記念アレルゲン関連研究助成を選択→アップロードをクリック。
- 3) アップロードした旨の通知と応募の研究課題名を<info@jsaweb.jp> へメールする。
- 4) 事務局からの受付完了メールが届いていることを確認する（申請から数日かかる場合があります）。

ご不明の点はお問合せ下さい。

お問い合わせ先：

〒110-0005 東京都台東区上野 1-13-3 MY ビル 4 階

日本アレルギー学会事務局「JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム」担当

TEL：03-5807-1701 FAX：03-5807-1702

E-mail：info@jsaweb.jp

研究結果の報告と公表

- 予定された研究終了後 3 か月以内に、研究実績報告書及び経費所要額精算調書（領収書添付）を提出する（別紙 2）。なお、本来の使用目的以外での使用と判断された場合は研究補助金の返却を求めることがある。
- 研究結果は日本アレルギー学会学術大会で発表を求めることとし、そのためのセッションを設ける。また、学術誌に論文として掲載することを目標とする（学会が刊行する英文誌または和文誌が望ましいが、他の分野での学術雑誌も可）。なお、その際には「**JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム**」（英語名：JSA WAO 2020 Memorial Research Grant Program）を受けたことを明示する。

研究支援の継続性に関わる広報活動

日本アレルギー学会のホームページ上で、本研究助成プログラムの主旨、応募要領などを公表する。また、本プログラムの実施に関する研究過程や成果などについても掲載を検討する。なお、本研究助成プログラム向上のために、学会会員からの意見や要望を受け、これを助成のあり方にフィードバックするとともに、継続的広報活動を行う。